

カメルーン★どうでしょう

2024年4月
カメルーン通信 No.18
JICA 海外協力隊
出町 卓也

A propos des Lycées au Cameroun.

Bonjour ! カメルーンからでまちです。4月に入り、日本は新年度のスタートですね。カメルーンでは2学期が終わり、2週間の休暇を挟んでいよいよ3学期、総まとめの学期に入ります。

どの子どもたちにとっても次の学年に進級できるかがかかった時期ですが、特に CM2 (6年生) にとっては小学校を終え、次のステップへ進むための進級試験がすぐそこに迫ってきています。学校によっては、この休暇中も子どもたちを呼び、補習を行っています。去年に引き続き、今年も私は試験対策の授業を行う予定です。今年は去年よりも多くのクラスを受け持つので、子どもたちの未来のために、精一杯取り組みたいと思います。



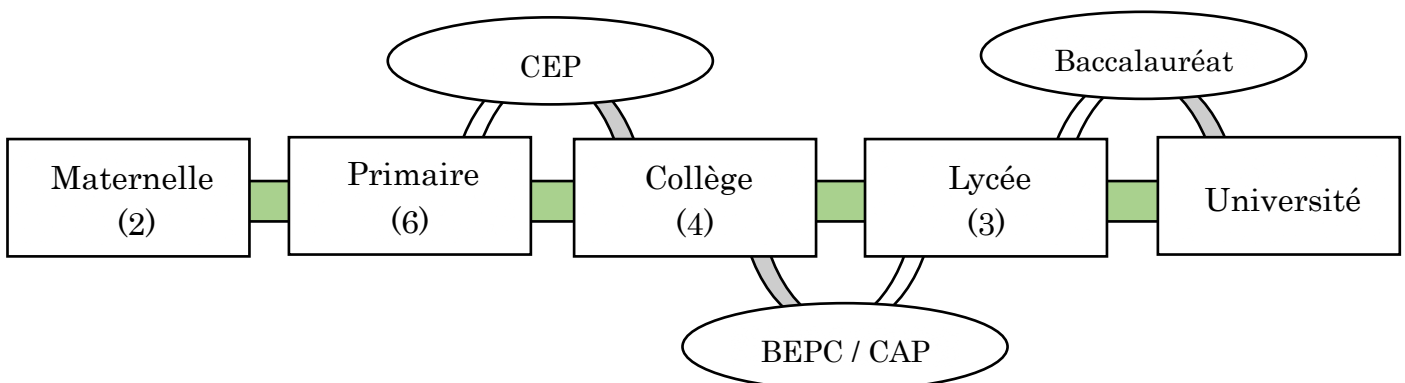
◇カメルーンの教育制度について。

カメルーンはフランス語圏の学校と英語圏の学校があるため、カリキュラムや進級試験など、その教育制度がそれぞれ異なります。下に示した図はフランス語圏の学校の教育制度です。英語圏はまた別にありますが、大枠の仕組みは同じです。

左から、幼稚園 (Maternelle)、初等教育 (Primaire)、前期中等教育 (Collège)、後期中等教育 (Lycée)、大学 (Université)、となります。下に書いてある数字は修養年数です。6-4-3となるので、日本と比べると中学校が長い、ということになりますね。しかし、留年で長く在籍する場合もあれば、飛び級で予定より短い期間で進級する場合があります。よって在籍する子どもたちの年齢層はバラバラです。

また、義務教育は初等教育までで無償ですが、毎年登録料や制服、ノートや筆記具などの費用は各家庭の負担になります。

丸く囲ってあるのが、進級試験の名称です。今回6年生が受けるのは、CEP と呼ばれる試験です。日本語にすると『初等教育修了証書』です。この証書をもらうことで、次のカテゴリーに進むことができます。



◇オープンスクールに行ってきた。

地域によりますが、ここエゼカには Collège と呼ばれる学校はなく、Lycée がまとめて管轄しています。つまり、子どもたちは Primaire から直接 Lycée に進学し、そこで7年間を過ごすことになります。Lycée は、大きく普通科と専門科の2つに分けられます。先日、そのうちの専門科であるエゼカ技術高校（Lycée technique）のオープンスクールに参加しました。



この技術高校には様々な科があり、服飾・農業・木工・電気・機械などがあります。この日は交流のある他地区の技術学校と合同でのオープンスクールで、これまで制作した様々なものを各ブースで披露していました。進路のために多くの6年生も見学に来て、興味深そうにブースを見て回っていました。特に、パソコンとプロジェクターを使った説明には、多くの子どもたちが集まっていました。ICTの授業で学んでいても、実物を目にすることがあまりないため、それらを使いこなす先輩の姿に惹かれるものがあったようです。



私としても、昨年授業で関わった教え子がたくさんこの学校に進学しているので、再会を楽しむことができました。私のことを知らない他の学校出身の生徒たちに、「彼は日本人だよ」「英語を教えているよ」「日本語であいさつは『こんにちは』、というよ」と教えまわっている様子を見て、私を覚えてくれたことがとても嬉しかったです。それでは、A bientôt !